



2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月10日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東
コード番号 3660 URL <https://www.istyle.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 吉松 徹郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副会長CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(6161)3660
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	18,442	22.6	1,039	36.4	1,050	25.1	648	7.6
2025年6月期第1四半期	15,038	20.8	762	107.1	839	140.5	603	252.0

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 657百万円(131.7%) 2025年6月期第1四半期 283百万円(6.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2026年6月期第1四半期	7.01		5.34	
2025年6月期第1四半期	7.65		5.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	37,919	21,042	52.7
2025年6月期	34,601	17,007	46.0

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 19,967百万円 2025年6月期 15,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
2025年 6 月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 1.00	円 銭 1.00
2026年 6 月期	—				
2026年 6 月期(予想)		0.00	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

（注）表示は、対前期増減率									
	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	83,000	20.7	3,800	20.1	3,800	14.8	2,650	13.9	27.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名) — 、除外 —社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年6月期1Q	102,444,967株	2025年6月期	91,754,577株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	2,693,618株	2025年6月期	2,693,618株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年6月期1Q	92,498,097株	2025年6月期1Q	78,769,982株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、連結業績予想の1株当たり当期純利益は2025年10月末までの新株予約権の行使及び2025年10月28日付の譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分による影響を加味して計算しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、2024年8月に発表しました中期事業方針に基づき、リテール事業（EC・店舗）の拡大を通じてユーザーとの接点やデータを増やし、それらをマーケティング支援事業（BtoBサービス）でマネタイズすることで、中期事業目標である連結売上高1,000億円、連結営業利益80億円の達成を目指しております。

2026年6月期は中期事業方針の2年目にあたり、次の成長フェーズへの飛躍に向けた「戦略的投資の年」と位置づけています。

将来的な営業利益の源泉となる売上高は、国内事業の全体的なオーガニック成長に加え、グローバル事業における香港旗艦店「@cosme HONG KONG」（2025年12月5日オープン予定）によって拡大を図ってまいります。

そして中長期成長に向け、各セグメントでの人員やシステム投資等の強化に加え、新規事業等への投資を拡大いたします。マーケティング支援事業では、労働集約型のデータコンサルティングを新たな収益の柱とすべく、コンサルタントの採用に注力いたします。グローバル事業では、香港旗艦店のオープン前費用が上期で計上されるものの、下期から黒字化を見込んでおります。

当連結会計年度の営業利益は前年同期比20.1%増を計画しておりますが、営業利益率は前述の先行投資に伴い前期と同水準となる見通しです。本年度は来期以降の成長に向けた助走期間と位置づけ、戦略的な事業基盤の強化と将来成長を見据えた投資拡大により、中長期的な企業価値向上を目指します。

当第1四半期連結累計期間における連結業績は以下の通りです。

売上高におきましては、国内で展開しているマーケティング支援事業及びリテール事業が業績を牽引し、前年同期比22.6%の増収となりました。

営業利益におきましては、売上高と同様にマーケティング支援事業及びリテール事業が増益に寄与し、香港旗艦店のオープン前費用を吸収して36.4%の増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	18,442百万円（前年同期 15,038百万円 / 前年同期比 22.6%増）
営業利益	1,039百万円（前年同期 762百万円 / 前年同期比 36.4%増）
経常利益	1,050百万円（前年同期 839百万円 / 前年同期比 25.1%増）
税金等調整前四半期純利益	1,050百万円（前年同期 839百万円 / 前年同期比 25.1%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	648百万円（前年同期 603百万円 / 前年同期比 7.6%増）

① マーケティング支援事業

当セグメントには、当社が運営するコスメ・美容の総合サイト「@cosme（アットコスメ）」を基盤とした、化粧品ブランド向けの広告ソリューションやデータドリブンソリューションが属しております。

売上高におきましては、リテール事業の売上規模拡大に伴うECと店舗を活用した販売促進施策の好調などを背景に、大手および新たな中堅ブランドとの取引規模が増加し、前年同期比27.0%の増収となりました。

営業利益におきましては、限界利益率の高い事業モデルが効率的な利益拡大につながり、前年同期比46.8%の増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	2,920百万円（前年同期 2,298百万円 / 前年同期比 27.0%増）
営業利益	972百万円（前年同期 662百万円 / 前年同期比 46.8%増）

② リテール事業

当セグメントには、化粧品ECサイト「@cosme SHOPPING（アットコスメショッピング）」、化粧品専門店「@cosme STORE（アットコスメストア）」等の国内における小売業を中心としたサービスが属しております。

売上高におきまして、ECでは、引き続きプラットフォーム連携による新規顧客の獲得により、前年同期比26.4%の増収となりました。店舗では、「@cosme NAGOYA」等の新店寄与に加え、既存店の成長により前年同期比24.0%の増収となりました。結果として、セグメント全体では前年同期比24.7%の増収にて着地しました。

営業利益におきましては、増収寄与により前年同期比20.4%の増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	14,164百万円（前年同期 11,354百万円 / 前年同期比 24.7%増）
営業利益	860百万円（前年同期 714百万円 / 前年同期比 20.4%増）

③ グローバル事業

当セグメントには、日本国外で展開するEC・卸売、店舗、メディア等のサービスが属しております。

売上高におきましては、中国越境ECが復調した結果、セグメント全体で前年同期比0.5%の増収となりました。

営業利益におきましては、香港旗艦店のオープン前費用104百万円を計上したことにより、前年同期比で赤字幅は拡大となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	1,004百万円（前年同期 999百万円 / 前年同期比 0.5%増）
営業損失（△）	△150百万円（前年同期 △14百万円）

④ その他事業

当セグメントには、美容部員を派遣する人材派遣事業と、ユーザー向けのBtoC課金サービス、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業が属しております。

売上高におきましては、BtoC課金サービスの1つである「BLOOMBOX」が2024年12月で終了した影響を受け、前年同期比8.2%の減収となりました。

営業利益におきましては、前述の通り「BLOOMBOX」の終了に加え、2025年7月にローンチしたサプリメント事業の先行費用により、前年同期比79.4%の減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	355百万円（前年同期 387百万円 / 前年同期比 8.2%減）
営業利益	13百万円（前年同期 61百万円 / 前年同期比 79.4%減）

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ3,318百万円増加し、37,919百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ2,920百万円増加し、23,961百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,104百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が148百万円、商品が1,366百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ398百万円増加し、13,958百万円となりました。これは主に、投資有価証券が34百万円減少したものの、有形固定資産が496百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ717百万円減少し、16,877百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ640百万円減少し、12,051百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2,232百万円増加したものの、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が1,500百万円、未払法人税等が420百万円、賞与引当金が215百万円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ76百万円減少し、4,826百万円となりました。これは主に、長期借入金が293百万円減少したこと等によるものであります。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ4,035百万円増加し、21,042百万円となりました。これは主に、資本金が1,750百万円、資本剰余金が1,750百万円、利益剰余金が559百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期通期の連結業績予想につきましては、2025年8月12日の決算短信で公表いたしました内容から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,224	8,328
受取手形、売掛金及び契約資産	5,535	5,683
商品	6,415	7,781
営業投資有価証券	964	988
その他	913	1,191
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	21,041	23,961
固定資産		
有形固定資産	3,589	4,085
無形固定資産		
のれん	937	907
ソフトウェア	1,912	2,170
その他	781	690
無形固定資産合計	3,630	3,767
投資その他の資産		
投資有価証券	3,511	3,477
敷金及び保証金	1,907	1,905
その他	925	724
投資その他の資産合計	6,342	6,106
固定資産合計	13,560	13,958
資産合計	34,601	37,919

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,409	5,641
短期借入金	1,000	1,200
1年内返済予定の長期借入金	1,198	1,201
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	1,500	—
未払法人税等	626	206
賞与引当金	453	239
その他	4,505	3,565
流動負債合計	12,692	12,051
固定負債		
長期借入金	3,857	3,564
その他	1,045	1,262
固定負債合計	4,902	4,826
負債合計	17,594	16,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,179	8,929
資本剰余金	2,314	4,063
利益剰余金	5,645	6,204
自己株式	△280	△280
株主資本合計	14,858	18,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△67	△77
為替換算調整勘定	1,109	1,127
その他の包括利益累計額合計	1,043	1,050
新株予約権	955	942
非支配株主持分	151	133
純資産合計	17,007	21,042
負債純資産合計	34,601	37,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	15,038	18,442
売上原価	8,260	10,393
売上総利益	6,778	8,050
販売費及び一般管理費	6,016	7,011
営業利益	762	1,039
営業外収益		
受取利息	2	8
為替差益	39	0
持分法による投資利益	32	32
その他	19	12
営業外収益合計	92	52
営業外費用		
支払利息	12	16
株式交付費	—	23
投資事業組合運用損	1	0
その他	1	2
営業外費用合計	14	41
経常利益	839	1,050
特別利益		
新株予約権戻入益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益	839	1,050
法人税等	231	399
四半期純利益	609	651
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	603	648

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	609	651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	23
持分法適用会社に対する持分相当額	△24	△33
為替換算調整勘定	△252	16
その他の包括利益合計	△325	6
四半期包括利益	283	657
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287	656
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

当社は、2024年8月20日開催の取締役会の決議により、同日付で会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を2,811百万円減少させ、同額をその他資本剰余金に振り替えております。また、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を2,811百万円減少させ、同額を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損補填を行っております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が851百万円、利益剰余金が3,920百万円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

当第1四半期連結累計期間に第9回及び第26回新株予約権の権利行使が行われ、資本金及び資本剰余金が1,000百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間に第2回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換権行使が行われ、資本金及び資本剰余金が750百万円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が8,929百万円、資本剰余金が4,063百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				その他 事業 (注) 1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注) 2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 (百万円)
	マーケ ティング支 援事業 (百万円)	リテール 事業 (百万円)	グローバル 事業 (百万円)	計				
売上高								
一時点で移転される財 又はサービス	—	11,354	783	12,138	—	12,138	—	12,138
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	2,298	—	216	2,514	387	2,901	—	2,901
顧客との契約から生じる 収益	2,298	11,354	999	14,651	387	15,038	—	15,038
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,298	11,354	999	14,651	387	15,038	—	15,038
セグメント間の内部 売上高又は振替高	338	18	—	355	11	366	△366	—
計	2,636	11,372	999	15,007	398	15,404	△366	15,038
セグメント利益又は損失 (△)	662	714	△14	1,362	61	1,423	△662	762

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業、BtoC課金サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△662百万円は、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△661百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				その他 事業 (注) 1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注) 2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 (百万円)
	マーケ ティング支 援事業 (百万円)	リテール 事業 (百万円)	グローバル 事業 (百万円)	計				
売上高								
一時点で移転される財 又はサービス	—	14,164	765	14,928	5	14,933	—	14,933
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	2,920	—	239	3,159	346	3,505	—	3,505
顧客との契約から生じる 収益	2,920	14,164	1,004	18,087	351	18,438	—	18,438
その他の収益	—	—	—	—	4	4	—	4
外部顧客への売上高	2,920	14,164	1,004	18,087	355	18,442	—	18,442
セグメント間の内部 売上高又は振替高	410	89	3	502	13	515	△515	—
計	3,330	14,253	1,006	18,589	368	18,957	△515	18,442
セグメント利益又は損失 (△)	972	860	△150	1,683	13	1,695	△656	1,039

- (注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業、BtoC課金サービス等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△656百万円は、セグメント間取引消去0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△656百万円であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	391百万円	516百万円
のれんの償却額	51百万円	51百万円